

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2024No.197】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ベートーヴェン

曲名：弦楽四重奏曲

演奏：ベルチャ弦楽四重奏団

発売：アルファクラシックス

No.：ALPHA469

概要：

ベルチャ弦楽四重奏団の演奏会で求めてきたベートーヴェンの弦楽四重奏曲全集 8 枚組 CD で、2 枚ずつ聴いていきます。

【演奏】ベルチャ弦楽四重奏団

【収録】

[CD7]

1-4. 弦楽四重奏曲 第 10 番 変ホ長調 Op.74 「ハープ」

5-10. 弦楽四重奏曲 第 13 番 変ロ長調 Op.130

[CD8]

1-4. 弦楽四重奏曲 第 15 番 イ短調 Op.132

5-8. 弦楽四重奏曲 第 16 番 へ長調 Op.135

【録音】2011-2012 年

オールドバラ、スネイプ・モルティンクス、ブリテン・スタジオ

【解説】

前報のディスコグラフィー【2024No.194】参照



ベルチャ四重奏団のメンバーと使用楽器は前報【2024No.194】のとおりです。

ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲は、ZANDEN Model 120 導入後の音質評価として ZANDEN Model 120 の展開シリーズで、ベートーヴェン全集のアナログ盤で聴いています。曲の表情はそれぞれの対応するアナログ盤の報告を参照してもらえれば結構です。

弦楽四重奏曲 第 10 番→[ZANDEN Model 120 の展開\(13\)](#)

弦楽四重奏曲 第 13 番→[ZANDEN Model 120 の展開\(14\)](#)

弦楽四重奏曲 第 15 番→[ZANDEN Model 120 の展開\(14\)](#)

弦楽四重奏曲 第 16 番→[ZANDEN Model 120 の展開\(14\)](#)

弦楽四重奏曲 第 10 は、躍動的な 1 楽章の中で、勢いよくピチカートが入り、そのことでハーブと言う名称がついたものと思われま。

弦楽四重奏曲 第 13 番は後期の最初の曲で、優雅な旋律が続きます。

弦楽四重奏曲 第 15 番と第 16 番は最後期の曲で、初期は古典派の様式からベートーヴェンらしさを獲得していくもの、中期はラズモフスキー 1 番からセリオソなど、渾身の力作、そして後期はどこか肩の力を抜いて穏やかな表情になっていきます。

ベルチャ弦楽四重奏団は、こういったベートーヴェンの作風の流れにそった移り変わりを表現してくれています。

ちなみに、演奏会やライブ配信でどのようなベートーヴェンの弦楽四重奏曲を聴いてきたか、サイト内検索をかけてみると次のようになりました。こうしてみると 7 番、9 番、11 番が多いようです。

演奏会

グヴァントハウス弦楽四重奏団 弦楽四重奏曲第 7 番「ラズモフスキー第 1 番」

キアロスクーロカルテット 弦楽四重奏曲第 7 番「ラズモフスキー第 1 番」

カルテット・エクセルシオ 弦楽四重奏曲第 9 番「ラズモフスキー第 3 番」

タカーチ弦楽四重奏団 弦楽四重奏曲第 9 番「ラズモフスキー第 3 番」

カザルス四重奏団 弦楽四重奏曲 第 6 番

弦楽四重奏曲 第 11 番「セリオソ」

前橋汀子カルテット 弦楽四重奏曲 第 4 番

弦楽四重奏曲 第 11 番「セリオソ」

弦楽四重奏曲 第 14 番

ドーリック・カルテット 弦楽四重奏曲第 13 番（大フーガ付き）

グヴァントハウス弦楽四重奏団 弦楽四重奏曲第 11 番「セリオソ」

アルテミス・カルテット 弦楽四重奏曲第 3 番

デジタルサントリーホール

アトリウム弦楽四重奏団 弦楽四重奏曲第 7 番「ラズモフスキー第 1 番」

弦楽四重奏曲第 3 番

弦楽四重奏曲第 16 番

エルサレム弦楽四重奏団 弦楽四重奏曲第 7 番「ラズモフスキー第 1 番」

弦楽四重奏曲第 1 番

弦楽四重奏曲第 12 番

以上